

ツインシティ倉見地区 まちづくりニュース

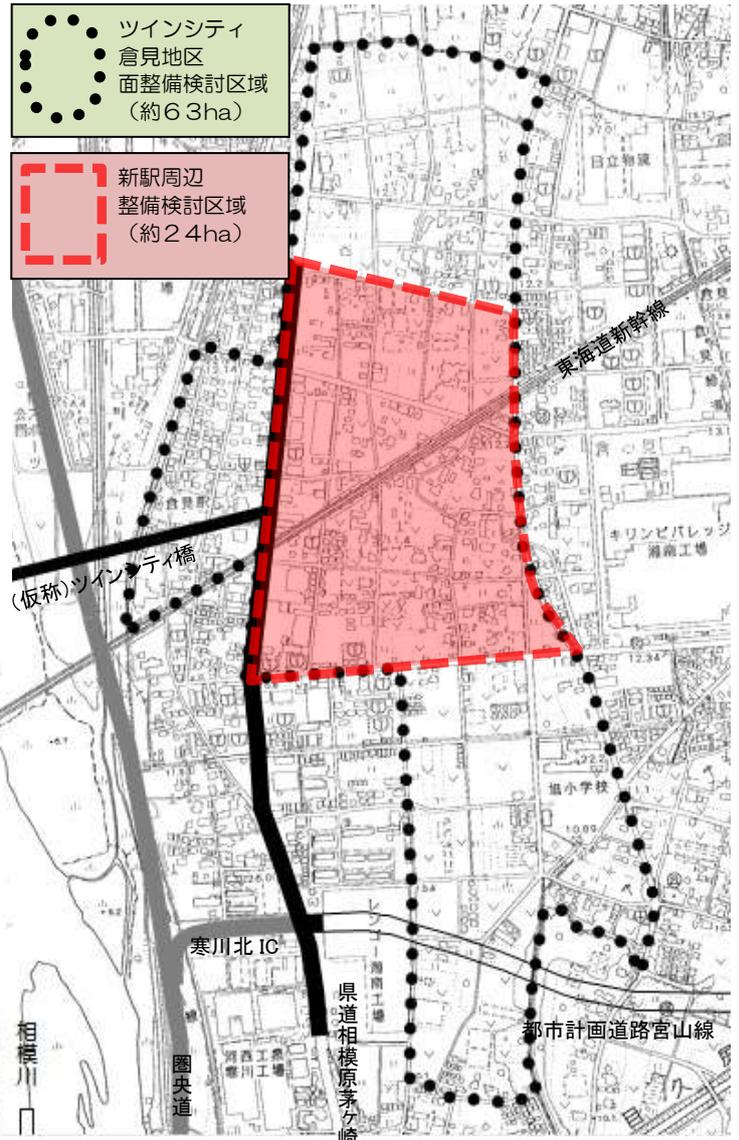
このまちづくりニュースは新幹線新駅の誘致とツインシティのまちづくりの
情報をお知らせするものです。

まちづくりを重点的に検討する区域を設定します

7月27日(日)、倉見地域集会所で「ツインシティ倉見地区のまちづくりに関する説明会」を開催し、「新駅周辺整備検討区域(約24ha)」を、まちづくりを重点的に進める区域として設定することとしました。

今後は、この区域内の地権者等の皆様と、土地利用の具体化や整備手法について、合意形成に向けた話し合いを行ってまいりたいと考えております。

また、周辺の南側、西側、北側の区域については、随時情報を提供しながら全体の情報共有に努めるとともに、この事業検討並びに面整備検討区域内の道路事業等の進捗を見据えつつ、整備のあり方を引き続き検討してまいりますので、今後とも皆様のご協力をお願いします。



新駅周辺整備検討区域の考え方

まちづくり検討→面整備検討区域(約63ha)

全体を事業化すると...

- ①土地利用制限が長期にわたる
- ②地価の変動による影響
- ③整備効果が現れるのに時間がかかる
- ④事業費が増加する可能性も考えられる

区域を分けてまちづくり検討(抽出)

新幹線新駅誘致を前提とした区域取りの考え方

- ①区域に必要な広さ・ボリューム
 - ・区域に必要な施設…駅関連施設、交通広場(将来的な駅前広場)、駅へのアクセス道路等)
 - ・区域内に必要な土地利用(区域内にお住まいの方の住宅地、新駅誘致地区周辺の商業・業務系用途)
- ②区域の境界線の根拠・目安となるもの(道路、行政界、地区界、鉄軌道等)

新駅周辺整備検討区域(約24ha)を重点的に検討する区域に設定します。

まちづくりに関する全体説明会を開催しました

7月27日(日)に開催した「ツインシティ倉見地区まちづくりに関する説明会」の概要は次のとおりです。当日は、神奈川県と寒川町からそれぞれ説明を行いました。神奈川県からは、新駅誘致地区が倉見地区に決定するまでの経過を説明。「倉見地区が大変ポテンシャルの高い地域であることから、計画的な良いまちづくりを目指すためにも市街化区域への編入・都市計画の手続きを早期に進める事が重要である」と説明しました。続いて、町からはまちづくりの方針や区域検討の経過、今後の進め方についてご説明しました。

当日の主なご意見

【発言】

- ・買収・移転等はすでに始まっているのか。
- ・おおまかなスケジュールを示してほしい。

【町】

- ・現時点では行っていません。地元の皆様との合意形成が整ったのちに都市計画手続きに入りますので、具体的なスケジュールについては、現時点ではお示しできない状況ですが、実際に事業が始まるまでには、まだ時間はかかると考えています。

【発言】

- ・なぜ、市街化区域が含まれるのか。
- ・リニア中央新幹線開業予定の2027年に倉見新駅も開業できるのか。

【町】

- ・交通広場（将来的な駅前広場）や新たに必要となる土地利用が市街化区域にかかる可能性がある事、道路を新設する可能性などを考慮すると、市街化区域も区域に含めたうえで、今後検討していくべきと考えます。
- ・神奈川県及び期成同盟会で、新駅開業目標年次（2027年）を定めており、それに向けて進めているのが現在の姿勢です。

【発言】

- ・もっと広くいろいろな人に知らせていく事が大切である。この区域内の住民だけでなく、周辺の住民や、今後引っ越してくる人にも「住んで良かった。」という結果が出るようなまちづくりをしてほしい。

【発言】

- ・JR 東海から新駅設置に関する確答は得られていない状況だが、JR 東海の確答を待ってから測量や地元との話し合いを開始しているようでは、莫大な時間がかかる。倉見地区、寒川町、神奈川県全体を潤すためにも新駅が必要ということから、この計画を前進させなくてはならないと思う。

【 まちづくりに関するご意見をお寄せ下さい 】

まちづくりに関するご質問・ご意見等がございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。担当の職員がご自宅にお伺いするなどし、説明をさせていただきます。

〒2253-0196 高座郡寒川町宮山165番地 寒川町 拠点づくり部 倉見拠点づくり課

TEL：0467-74-1111（内線 281・282）

FAX：0467-74-2833

ホームページ：<http://www.town.samukawa.kanagawa.jp>

※ホームページ上の「メールフォームによるお問い合わせ」から、メールでのお問い合わせも可能です。

